

第1回京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議次第

日時：平成26年7月28日（月）

午後13：45～

場所：京都府立青少年海洋センター
講堂

1 あいさつ

2 施設の館内視察

3 議題

（1）あり方検討会の設置趣旨と委員長の選出

（2）施設の現状・類似施設の状況

（3）施設の課題

（4）今後の進め方・スケジュール

京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議委員名簿

①学識経験者

坂上 英彦	京都嵯峨芸術大学芸術学部デザイン学科教授/京の景観形成プラン、京都府文化力創造懇話会、関西観光・文化振興計画検討委員/海の京都実践会議メンバー
-------	---

片木 孝治	(株)応用芸術研究所代表取締役/(一社)北陸古民家再生機構 理事
-------	----------------------------------

滑田 教夫	京都旅企画 代表取締役/京都府農林水産部水産課政策検討委員/京都府観光課政策検討委員/
-------	---

②地元関係者

今井 一雄	宮津商工会議所会頭/天橋立を世界遺産にする会会長/丹後地域戦略会議委員/海の京都実践会議メンバー
-------	--

沖田 真奈美	(株)アウルコーポレーション副社長/海の京都実践会議メンバー
--------	--------------------------------

河嶋 学	宮津市 企画総務室長
------	------------

③青少年等関係団体

神崎 清一	(公財)京都YMCA総主事/京都府青少年すこやか育成プラン検討委員/
-------	------------------------------------

高田 光治	(一財)京都ユースホステル協会 理事/統括部長
-------	-------------------------

赤木 一成	全国大学生協組合連合会・京滋・奈良ブロック 事務局長
-------	----------------------------

京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議設置要綱

(設置)

第1条 京都府立青少年海洋センターの魅力向上について、外部有識者の意見を聴取するため、京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(委員の役割)

第2条 検討会議の委員は、京都府立青少年海洋センター魅力向上の検討に関する事項について意見を述べるものとする。

(委員)

第3条 検討会議は、外部の有識者等9名で組織する。

2 委員の任期は、2年間とする。

3 委員に欠員が生じ、検討に支障が生じたときは、新たな委員を選任できるものとし、当該委員の任期は前任者の残任期間とする。

4 委員長は、互選により選出する。

6 委員長は、検討会議の議事を運営する。

(会議)

第4条 検討会議は、青少年課長が招集する。

(委員以外の者の出席)

第5条 青少年課長が、必要があると認めたときは、検討会議に専門的事項に関し学識経験のある者その他の関係人の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(委員の責務)

第6条 委員は、公正かつ公平に意見を述べなければならない。

(会議の公開)

第7条 検討会議は、公開する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、青少年課長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年7月18日から施行する。

京都府立青少年海洋センター
魅力向上検討会議
検討対象施設関係資料

平成26年7月
青少年課

京都府立青少年海洋センター概要

【開 設】昭和57年5月1日

【設置目的】

青少年に、海洋活動を通じて心身を鍛錬する場を提供し、その健全な育成に寄与する。

【施設概要】

- 敷地 41,792.22㎡(宮津市より借受) 761.21㎡(府有地…前面地)
- 建物 鉄筋コンクリート造2階建(一部平屋) 延面積 6,156.88㎡
- 管理・研修棟 研修室4室(20名×2室、40名×2室)、講堂(200名)、事務室、ロビー、食堂
- 宿 泊 棟 宿泊室20室(定員200名)、リーダー室5室(定員25名)
- 海の科学館、芝生の広場、フィールドアスレチックコース、ミーティングコア、カッター(4隻)他

【開館時間】午前9時～午後9時

【休 館 日】12月28日～1月4日、毎月第1・第3月曜日

(国民の休日の場合はその日後直近の休日でない日)

※冬期期間(各年度1～2月)については営業を義務づけないこととしている。

【活動内容】海上プログラム

カッター・カヌー、定置網、磯観察 等

陸上プログラム

フィールドアスレチック、キャンプファイヤー、ハイキング 等

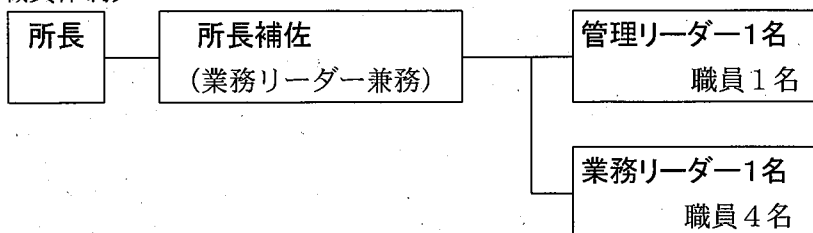
【施設運営】○昭和57年から平成18年まで24年間は、社団法人京都府青少年育成協会が京都府より運営委託。

○平成18年9月より(公社)京都府青少年育成協会が指定管理者として運営。平成24年度より3期目(～平成27年度)の受託、現在に至る。

(H25 指定管理料 81,870 千円)

【職員数】 8名(内非常勤 1名)

＜職員体制＞



【利用状況（H25）】

（単位：人）

区分	利用者数	区分	利用者数
宿泊室	16,002	カッター	8,370
研修室	16,528	体育館	14,360
海の科学館	3,864	プール	1,868
フィールドアスレチック	2,834	計	63,826

【利用料金】

利用施設	使用区分	設定額(円)
宿泊施設	小学生	700
	中学生	900
	高校生・専門学校学生	1,200
	一般	2,300
附属施設	海の科学館 小中高校生(個人)1回	100
	一般(個人)1回	200
	小中高校生(団体)1回	50
	一般(団体)1回	100
附属施設	フィールドアスレチック 小中高校生(個人)1回	200
	一般(個人)1回	350
	小中高校生(団体)1回	160
	一般(団体)1回	280
附属設備	カッター 午前・午後1回	200
食堂	朝食	410
	昼食	660
	夕食	970

【備考】

宮津市 B&G 海洋センター施設として、体育館、プールが併設されており、現在、宮津市から（公社）京都府青少年育成協会に無償貸付されており、府立青少年海洋センターと一体的な管理運営が行われている。

現在実施されている主なプログラム

活 動 名	内 容
カッター活動	カッター漕艇活動（小学5年生以上）
カヌー活動	カヌー漕艇活動（京都府内小学校の小学5年生以上）
海藻押葉	採集した海藻を用いたクラフト（しおり等）体験
地引き網体験	青少年海洋センター前浜での地引き網体験
定置網体験	日本海での定置網漁の体験
キャンプファイヤー	施設内ファイヤーサイトでのキャンプファイヤー
キャンドルファイヤー	歌やゲームを交えたキャンドルファイヤー（室内）
磯観察	青少年海洋センター前海岸での磯観察
ウォークラリー	コマ図をたよりに問題を解きながらのウォークラリー
ハイキング	自然と触れあいながらの半島ハイキングなど
フィールドビンゴ	ビンゴゲーム形式での自然観察・学習
海の科学館Q&A	小学高学年用・中学生用の学習プログラム
フィールドアスレチック	14ポイントのフィールドアスレチック
映写会	ビデオ・DVD・プロジェクターによる映写会及び研修会など
水泳（海水浴・プール）	青少年海洋センター前浜及び屋外プールでの水泳

活動計画表

参考

晴天時記入例 1日目

団体名 青少年海洋センター

平成〇〇年 〇月 〇日(〇)

6:30	起床・洗面等		※ 冬季(11月~2月) 起床時間 7:00	
7:00	朝のつどい・美化活動			
8:30	朝食		※ 退所日 この時間帯に寝具の整理・シーツの返却	
8:45	活動準備			
9:00	晴天時活動内容		利用施設・設備等	
午前 の 部	9:00 学校出発	センター到着までの 利用施設や立寄る 場所を記入して下さい	カッター活動	
	10:00 魚っ知館 見学		隻 数	隻
			人 数	人
			ローテーション	
11:30	11:45 センター到着	11:30以降の到着で計画して下さい	アスレチック	人
12:00	昼食 前浜で昼食		※ 退所日 11:30 には活動を終了し、 部屋の清掃・ルームチェック ()	
13:00	13:00 入所 オリエンテーション・入室		カッター活動	
午後 の 部	13:30 午後の活動	活動場所等記入 (右に必要事項記入)	隻 数	〇 隻
			人 数	〇 人
			ローテーション	〇
	16:30 活動終了		アスレチック	〇 人
17:00	タベのつどい		※ 必要に応じて行ってください。	
17:45	夕食			
19:30 ()	19:30 夜間の活動	活動場所等記入		
夜間 の 部	21:00 活動終了			
	自由時間			
22:00	就寝準備			
23:30	消灯・就寝 ※ 複数団体の場合、消灯後は他団体の迷惑にならないよう指導・注意を行ってください。			

入浴時間
17:00~

22:00まで

※注 各食事時間の10~15分前から準備を開始してください。

参考

活動計画表

晴天時記入例 2日目

団体名 青少年海洋センター

平成〇〇年 〇月 〇日(〇)

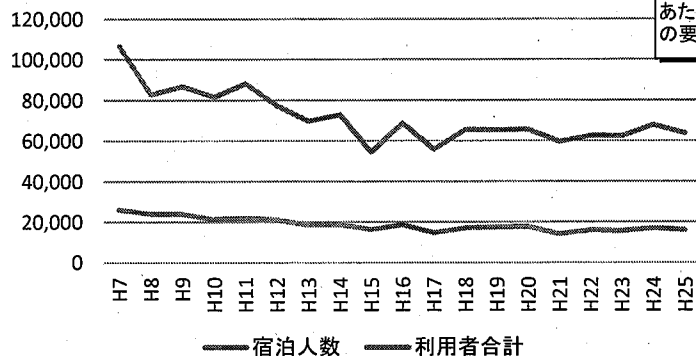
6:30	起床・洗面等		※ 冬季(11月~2月) 起床時間 7:00		
7:00	朝のつどい・美化活動				
7:30	朝食		※ 退所日 この時間帯に寝具の整理・シーツの返却		
8:45	活動準備				
9:00	晴天時活動内容		利用施設・設備等		
午前 の 部	9:00	午前の活動	活動場所等記入 (右に必要事項記入)	カッター活動	
				隻数	〇 隻
				人数	〇 人
				ローター数	〇
	11:00	活動終了			
	11:10	清掃			
	11:30	ルームチェック		アスチック 〇 人	
11:30				科学館 〇 人	
12:00	昼食		※ 退所日 11:30 には活動を終了し、 部屋の清掃・ルームチェック (11:30. ←)		
午後 の 部	12:55	出発 (13:00 には出発できる様に計画を組んで下さい)	カッター活動	隻数	隻
		センター出発後立寄り場所があれば記入して下さい		人数	人
		13:00 天橋立散策		ローター数	
		15:00 立寄り場所出発			
16:30				アスチック 人	
17:00				科学館 人	
17:45	夕飯のつどい		※ 必要に応じて行ってください。		
19:30	夕食				
21:00	自由時間				
22:00	就寝準備				
23:00	消灯・就寝 ※ 複数団体の場合、消灯後は他団体の迷惑にならないよう指導・注意を行ってください。				

入浴時間 17:00~

22:00まで

※注 各食事時間の10~15分前から準備を開始してください。

利用者数の推移



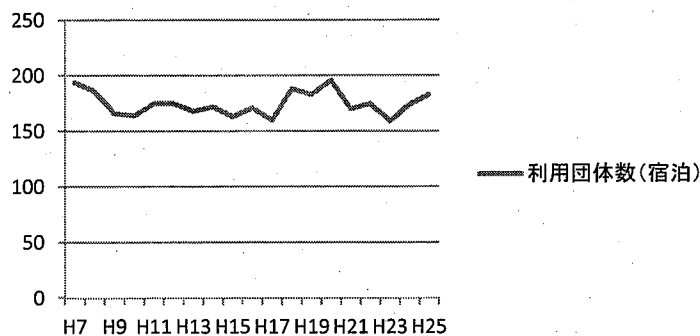
*:
ここ数年の利用者数は横ばいである。
ピーク時(H7年)から利用者数は下降し
ているが、下記のグラフからも利用団体
数自体に大きな変化はないため、1団体
あたり利用者数が減少してきたことがそ
の要因として考えられる。

【利用状況】

(単位:人)

年度区分	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
宿泊人数	26,090	24,155	24,008	21,390	22,046	21,068	18,631	18,925	16,273	18,728
利用者合計	106,759	82,948	86,864	81,708	88,386	77,389	69,892	72,945	54,563	68,650
年度区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
宿泊人数	14,790	17,074	17,421	17,795	14,131	15,974	15,554	16,940	16,002	
利用者合計	55,836	65,708	65,263	65,643	59,655	62,750	62,381	67,970	63,826	

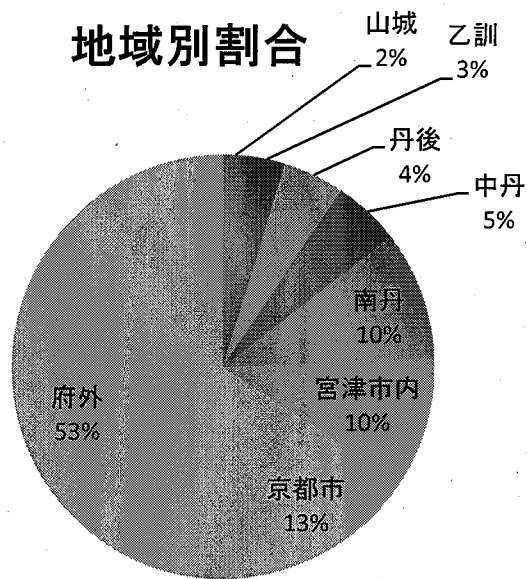
利用団体数(宿泊)



利用団体数(宿泊)

H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
194	186	166	164	175	175	168	172	163	171
H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
160	188	183	196	170	175	159	174	183	

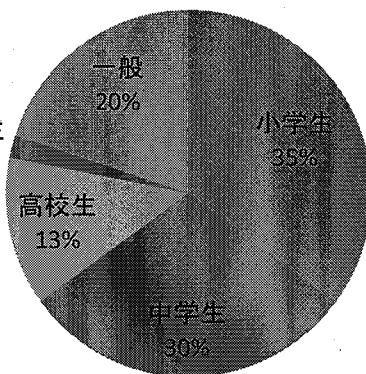
地域別割合

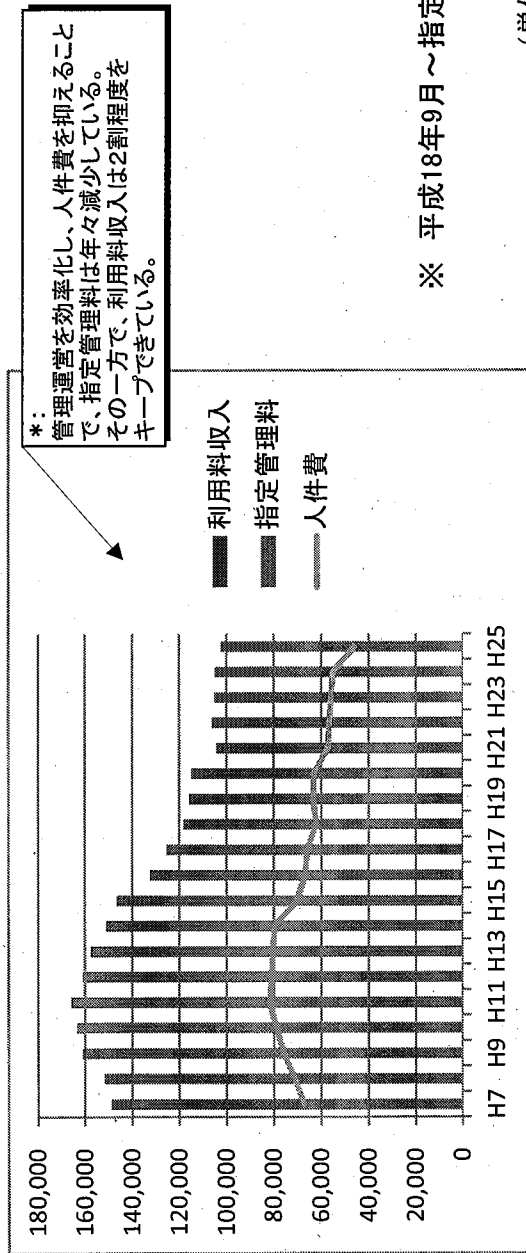


利用者属性

*:
「一般」の内訳としては、純粋に一般客というわけではなく、学校・団体等の引率の大人が多い。

大学生
2%



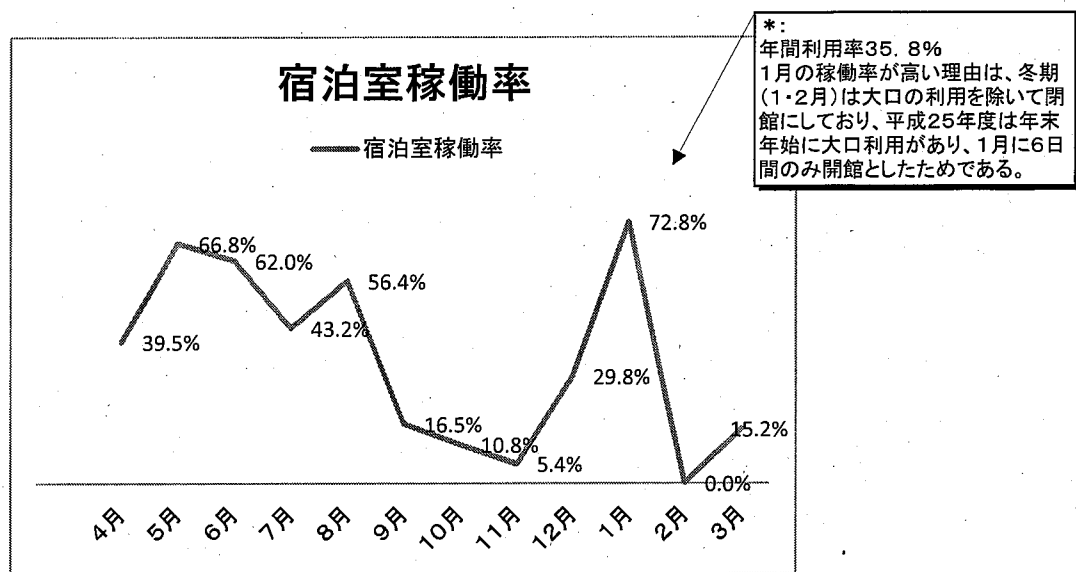


※ 平成18年9月～指定管理制度

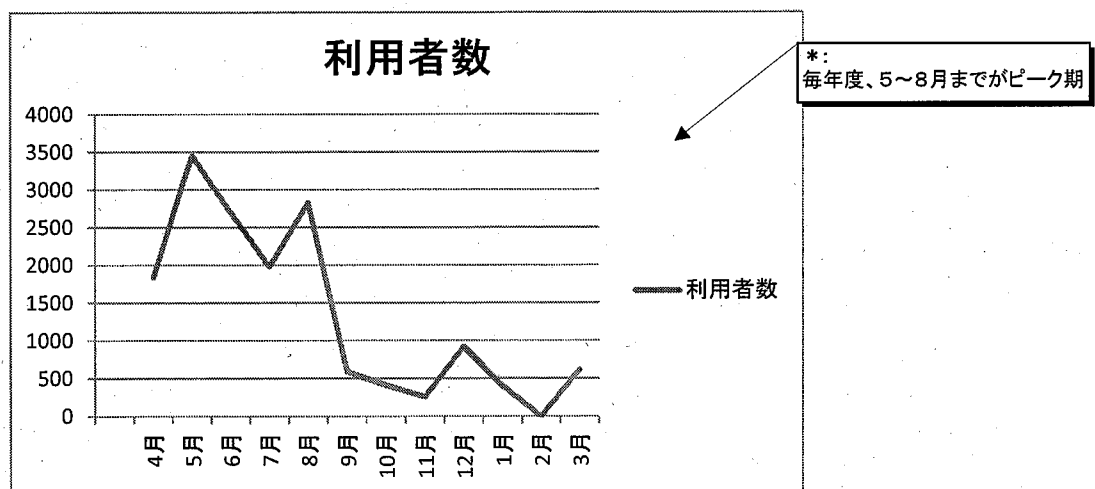
【収支状況】

年度区分	委託料	収入							支出				繰越 収支差額
		うち使用料収入	指定管理料	利用料収入	内宿泊料 収入	食堂収入	その他	合計	人件費	運営費	計		
H7	148,814	37,707	—	—	30,245	4,598	2,206	155,618	67,124	88,494	155,618	0	
H8	151,634	33,828	—	—	27,331	4,391	2,373	158,398	70,986	87,412	158,398	0	
H9	160,903	33,902	—	—	27,951	4,563	2,591	168,057	75,675	92,382	168,057	0	
H10	163,330	30,594	—	—	25,166	3,763	2,675	169,768	78,814	90,954	169,768	0	
H11	165,707	29,744	—	—	24,640	4,378	3,071	173,156	81,667	91,489	173,156	0	
H12	161,007	29,673	—	—	25,199	4,224	2,939	168,170	80,690	87,480	168,170	0	
H13	157,419	24,871	—	—	20,832	3,841	2,923	164,183	80,370	83,813	164,183	0	
H14	150,963	25,520	—	—	21,127	3,886	7,804	162,653	79,509	83,144	162,653	0	
H15	146,530	20,485	—	—	17,601	3,277	2,687	152,494	70,253	82,241	152,494	0	
H16	132,444	25,261	—	—	20,957	3,937	1,813	138,194	66,716	71,478	138,194	0	
H17	125,482	20,473	—	—	16,472	3,051	1,719	130,252	65,899	64,353	130,252	0	
H18	62,706	19,785	52,311	3,117	18,580	3,471	1,374	122,979	61,922	60,380	122,302	677	
H19	—	—	93,027	22,627	18,819	3,361	2,810	121,825	63,356	56,589	119,945	1,880	
H20	—	—	92,813	21,958	18,334	5,397	5,467	125,635	63,081	62,554	125,635	0	
H21	—	—	85,976	18,181	15,098	4,434	4,640	113,231	57,088	58,143	115,231	-2,000	
H22	—	—	85,706	20,372	17,620	4,962	2,880	113,920	56,403	55,517	111,920	0	
H23	—	—	85,350	19,684	17,090	4,678	4,469	114,182	55,796	57,938	113,734	448	
H24	—	—	82,867	22,052	18,253	5,099	1,654	111,672	54,942	55,868	110,810	862	
H25	—	—	81,870	20,452	17,805	4,780	3,123	110,225	46,108	61,641	107,749	2,476	

(単位: 千円)



H25	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	30	31	30	31	31	30	27	26	24	6	0	11	277
利用者数	1,836	3,452	2,702	1,980	2,830	591	414	256	923	399	0	619	16002



マリーニピア修繕実績

	修繕内容	金額(千円)	備考
平成15年度	フィールドアスレチック全面改修	45,149	宝くじ収益
	B&Gプール改修	11,340	うち3,270千円補助
平成16年度	浴槽濾過配管工事	4,194	
	外壁洗浄補修	4,508	雇用基金
	樹木剪定除草	1,392	雇用基金
	台風23号による災害復旧 (受水槽フェンス、案内所横外灯等)	9,786	ヨットハーバー災害復旧と合わせた金額
平成17年度	ソーラーシステム改修、蓄電器取替、 浴室濾過器取替工事	11,993	
	台風23号による災害復旧(前浜公園)	14,000	⑩繰越
平成18年度	放送設備改修	1,609	
平成20年度	地盤沈下改修	21,888	
	電気設備改修	2,234	
平成22年度	ボイラー更新	23,471	⑪繰越
平成24年度	受水槽改修	16,674	
	ソーラー給湯システム改修	1,481	
平成25年度	ロビー壁面改修	7,334	
平成26年度	屋上防水工事	24,000	長期投資準備基金繰入金
京都府補助額計		192,983	

(参考)マリーニピア小修繕

(単位:千円)

	予算額	決算額
平成20年度	5,417	6,222
平成21年度	6,097	6,097
平成22年度	6,566	6,552
平成23年度	5,834	5,887
平成24年度	5,715	5,697
平成25年度	5,620	5,594
平成26年度	5,417	

(例) ・屋根防水修理(塗装)
 ・アスレチック修理
 ・案内所便所 排水管改修工事
 ・マイクロバス修理

・浴室給湯配管バルブ交換
 ・窓サッシ取替修理
 ・事務室エアコン修理
 ・屋外放送設備修理

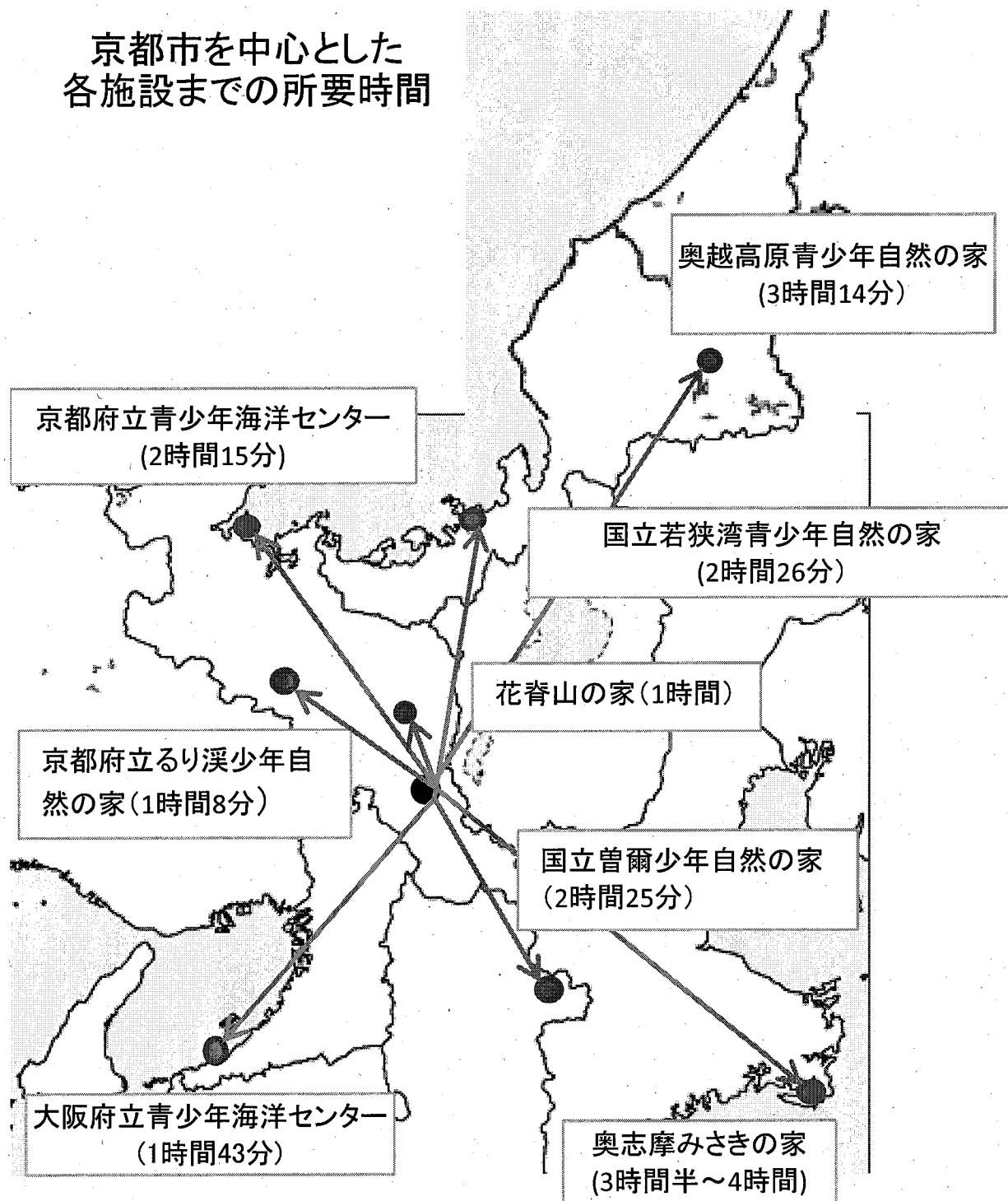
マリナーンピアと競合施設との比較(海洋施設)

項目	施設	マリナーンピア	若狭(国立)	大阪 (大阪府立)	みさきの家 (京都市教委)
設置年月		昭和57年5月	昭和59年4月	昭和50年7月	昭和56年
利用者数(内宿泊者数)		47,598人(16,002人)	77,007人	67,536人(約3万人)	33,932人(H24)
府(県)内利用(%)		47.20%	21%	89%(H24)	
定員		225名	335名	宿泊300名 日帰り200名	280名
料金			H26.4.1 価格改定有		
(小学生)		700円		1,550円(宿泊)	
(中学生)		900円	無料	"	
(高校生)		1,200円		"	無料
(一般)		2,300円	800円	2,310円(20~29歳) 3,030円(30歳以上)	
冷暖房料		200円			
食費(小学生)		2,040円	1,600円	1,900円	2,000円
体験活動			・漁業体験・林間散策、ハイキング	・アスレチック・キャンプファイヤー	
人気のある活動		カッター	カッター	カッター、カヌー、いかだ	スポーツ
運営形態		育成協会が指定管理者となり 管理運営(指定管理期間 3年) ○指定管理料 81,870千円 ○利用料金収入 20,452千円	(独)国立青少年教育振興機構が運営(職員については県教委からの割愛有り) ○運営費 約2億円 ○利用料金収入 約1千万円	下記3者が指定管理者となり共同運営(指定管理期間 5年) ・ナンブフードサービス(株) ・NPOナック ・(株)BSC・インターナショナル ○指定管理料 約9千万円 ○運営費 約2億8千5百万円	直営(部分委託 奥志摩青少年野外活動振興会) ○年間経費 71,304千円(H24)
利用状況		京都市からは高速道路、鉄道の接続が悪い。大阪府からの利用はある	無料なので、京都市立校が自前施設の代替として利用	府所有施設と市所有施設のバッキングを減らすべく、市所有の施設が閉鎖されたため、府内学校の利用が集中している	京都市立校及び市内社会教育団体は無料なのでアクセスの悪さの影響は少ない(近鉄+バスで京都市から3時間半)

マリーンピアと競合施設との比較(山の施設)

項目	施設	るり溪(府教委)	曽爾(国立)	花脊山の家 (京都市教委)	奥越高原 (福井県立)
設置年月		昭和58年4月		平成5年	平成9年建替
利用者数(内宿泊者数)		16,068人(15,607人)	127,000人	78,278人(H24)	33,287人(32,121人)
府(県)内利用(%)					67%
定員		300名	400名	400名	260名 (4団体まで)
料金					H26.4.1価格改定有
(小学生)		300円			320円
(中学生)		300円			320円
(高校生)		500円			480円
(一般)		1,000円			600円(26歳未満) 1,130円(26歳以上)
冷暖房料					
食費(小学生)		1,200円	1,560円	1,900円	1,750円
体験活動		・しいたけ菌打ち ・木工体験 ・環境(森林)学習	・林間散策、ハイキング	・アスレチック ・キャンプファイヤー 雪遊び、そり遊び(スキー)	
人気のある活動					野外炊さん、魚つかみ、クラフト
運営形態	グリーンパルるり溪共同事業 体が指定管理者となり運営 ・東京海上日動フアシリティー ズ株式会社 ・一般財団法人大阪市青少年 活動協会	(独)国立青少年教育振興機 構が運営	直営 (部分委託 (株)花脊山の家協会 他) ○年間経費 272,354千円(H24) ○使用料 14,098千円	福井県の直営 ○運営費(人件費除く) 68,608千円 ○利用料金収入 7,875千円	
利用状況	京都市からのバスのアクセス はよい。 鉄道は利用困難。	無料なので、京都市立校が 自前施設の代替として利用	京都市立校は無料なのでアクセス の悪さの影響は少ない(貸し切りバ スで京都市から1時間30分)	安価なので、京都市立校が代替 利用	

京都市を中心とした 各施設までの所要時間



施設活動プログラム

項目	施設	若狭(国立)	大阪(大阪府立)	奥越高原(福井県立)	
活動プログラム		(海の活動) ・カッター ・スノーケリング ・シーカヤック ・水泳 ・磯釣り ・磯観察 ・磯あそび ・ボート ・グラスボート ・カヌー ・組立式いかだ ・大だらい (森の活動) ・オリエンテーリング ・野外炊飯 ・ハイキング (クラフト活動) ・うるしダルマ ・紙皿クラフト ・松かさクラフト ・若狭塗り箸 ・草木染め (室内活動) ・キャンドルサービス ・室内スポーツ	(海の活動) ・ヨット ・カッター ・大型クルーザー ・カヌー ・カヤック ・いかだ ・磯あそび ・サントアート ・魚釣り ・潮干狩り (森の活動) ・野外炊飯 ・自然観察 ・ロープワーク (クラフト活動) ・石ころアート ・シエルメモリー ・ウッドクラフト (室内活動) ・塩づくり ・豆腐づくり ・館内クイズラリー	(野外活動) ・野外炊飯 ・魚つかみ ・ハイキング ・ウォークラリー ・登山 (屋内活動) ・焼き板 ・マイ箸作り体験 ・バードコール ・こま作り (夜の活動) ・キャンプファイヤー ・きもだめし	
備考		・活動日の2ヶ月前に利用校の引率者向けの事前打ち合わせを実施。その際に、各々の活動日におけるスケジュールの調整。また同時に、雨天時の活動予定についても定めておく。 ・活動プログラムは豊富であるが、すべての活動に指導員をつけられるわけでもないので、引率の教員の方がいかに事前に準備をしたかによって活動の充実に大きな差が出てくる。 ・また、当施設には、京都府・福井県・滋賀県の教員が割愛できている。そのため、現職の方の教育の視点を踏まえたプログラムが用意できている。	・三者が指定管理者となり、共同運営しており、その中の(株)BSC・インターナショナルが職員の育成を担当している。(びわ湖湖西にてヨット・カヌー等の各スクールを運営する組織) ・野外炊飯は雨天時も実施可能。	・野外炊飯、魚つかみが一番人気のあるメニューであり、雨天時も実施可能。 ・福井県の直営施設であり、職員には現職の教員が含まれている。活動プログラムについては、指導課の教員が担当し、希望があれば山登りについても引率をしている。 ・近隣には、勝山市の恐竜博物館、また自然の家の下に、プラネタリウム設備を有する自然保護センターがあり、そこでの活動後に、宿泊利用で訪れる団体もある。 ・大野市が実施している越前おおののまちあるきを活動プログラムに組み込む団体もある。	

マリーンピアに係る課題、方向、課題解決のための施策

項目	現状・問題点	方向	課題解決のための施策案
利用状況	○利用者の内訳は、小・中・高生が大半(引率者も含めると90.3%) ○大学生の利用者は極めて少ない(2.0%) ○府内の小学生の宿泊者数4,155人・宿泊率3.1%、中学生1,025人・1.4%、高校生1,806人・2.5% ○少子化が進む中、ピーク時と比較して利用団体数は約1割の減少、1団体当たりの利用人数は約3割減、宿泊者数は4割近く減少(平成7年度の宿泊者数26,090人→平成25年度16,002人) ○年間利用者の7割が夏期(5～8月10,964/16,002人)、3～4月、9～12月の利用促進が必要	○大学生の利用・宿泊を増やす。 ○3～4月、9月～12月の利用促進を図る。	○大学生向けお試しツアーの実施 ・部活・サークル代表者等100名を募集し、マリーンピアでの宿泊体験と地元との交流 ○ロードスポーツなど通年型運動部の誘致のための整備 ・丹後を巡るロードマップの作成 ・サイクルスポーツ用設備整備 ・裏山遊歩道を自転車用トライアルコースに整備
宿泊施設	○大部屋のみ、団体の宿泊には適する(10人部屋×20、5人部屋×5) ○比較的安価(小学生700円、中学生900円、高校生1,200円、一般2,300円) ○国立施設(若狭・曾爾)は青少年の宿泊料無料 ○京都市立施設(鳥羽、花脊)は市立校の宿泊料無料 ○その他2施設(るり溪、奥越高原(福井))もマリーンピアより安価(宿泊費半額以下) →値段で他の類似施設と競争できない。	○小・中・高校生向け、競争力のあるソフトプログラム(キラークンテンツ)を整備・提供	○海を活かした学習プログラム ・理科メニュー、社会科メニュー
体験施設、体験プログラム	○体育館(89.7%)、カッター体験(52.3%)の利用が多い。 ○カッターは16人定員の船が3隻しかなく、大人数の団体ではローテーションが組みにくい。 ○アスレチック施設(17.7%)は塗装がはげ、周辺の雑木に埋没、目立たない。利用者アンケートで改修の要望が高い。 ○B&G財団のカヌー、ローボート、ヨットがあるが、監視員の不足により、利用希望者があっても利用できない状況 ○海の科学館が老朽化により閉鎖されている。 ○雨天時のプログラムが用意されていない。	○海洋プログラムのバリエーション増やし、質を高める。 ○海の科学館の跡地に、雨天時のプログラムを体験できる施設を整備 ○府民や子どもたちの参画による、マリーンピアの新しいシンボルづくり	○監視員・指導員によるカヌー、ヨット体験教室の開催 ・土日、閑散期 親子体験教室 ○カヌーによる宮津湾冒険ツアーの実施 ○地域の農家、漁港、水産加工場と連携した就労体験プログラムの提供 ○海の科学館跡地整備 (例)★「丹後の海 3Dラボ(仮称)」を設置 ★「ミニラーニング・コモンズ」を設置 ・ワークショップ用テーブル、椅子、白板 ・プレゼン用設備(パソコン、プロジェクター、スクリーン) ○3年計画で、子どもたち、府民の参画による「私たちのマリーンピア号」づくり(船型遊具(アスレチック)の改修)

その他施設	○建設後、30年以上を経過し、老朽化が進行 ○現在、不都合のある箇所等 ○研究棟(雨漏り)、救助艇(船首に穴)、非常用電源(機能劣化)、貯湯槽(内側保温材剥落)、和式トイレ(洋式への改修)、カッター(老朽化で船底が腐食)、地盤沈下(芝生広場他)	○安全性、快適性の観点から老朽施設の整備を実施 ○施設の総点検、改修計画に沿って、計画的な改修の実施	
その他	○丹後・天橋立エリアへの一般旅行者の傾向 ・旅行目的:地元の美味しいもの(33.1%)、温泉や露天風呂(19.7%) ・客層:50歳以上が半数以上を占め、家族や恋人と訪れるが全体の8割以上 ※宮津市内の簡易宿泊所17、旅館・ホテル46、公営2	○海の京都と連携した一般観光客の誘致	○サイクリングターミナルとしての施設、設備の整備、海の京都とリンクした自転車周遊コースの情報提供 ○5人部屋をバス・トイレ付き、家族用洋室にする?

論点

- ① 近隣類似施設との競合に勝てるソフト・ハード整備
- ② 大学生へのアプローチ
- ③ 体験メニューの充実
- ④ 家族連れ等、少人数グループ受入への対応

マリンピア近隣施設

地域	施設名	施設概要(体験活動メニュー)
京丹後市	丹後あじわいの郷 弥栄町鳥取123	京都府農業公園。動物とのふれ合い、パンやお菓子の手作り体験、自然の中でたっぷり遊べるテーマパーク。
	森林公園 スイス村 弥栄町野中2562	丹後半島の中央部に位置する「太鼓山」三町付近に広がる総合レクリエーション施設。(冬場はスキー利用可)
	丹後ジャージー牧場 久美浜町神崎411	丹後ジャージーミルク牧場そら。事前予約でバター作り体験可。
	古代の里資料館 丹後町宮108	京丹後市内から発掘された考古資料を中心に、縄文～中世の時代ごとに石器・土器・玉類を展示。
	鳴き砂文化館 網野町掛津56	鳴き砂の音色が楽しめる体験型施設。
	碇高原総合牧場 丹後町碇1	ステーキハウスやキャンプ場などのレジャー施設及びヤギや羊とふれ合う「ふれ合い広場」も有り。
	フルーツ王国やさか 弥栄町木橋	食べ放題の桃狩り、ぶどう狩り、梨狩り体験。
	ウッディいさなご 峰山町五箇44番地の1	多数の木工作業メニューがあり、木工指導員による丁寧な指導のもとでの木工体験可。
	アミティ丹後 網野町網野367	丹後ちりめんの見学、「ステンシルプリント」の技法でハンカチ染めの体験可。(最大35名程度参加可)
与謝郡	加悦SL広場 与謝野町滝941-2	明治6年イギリスで製造の日本で2番目に古いSL「2号機関車」をはじめ、今では貴重な機関車・客車等を展示。
	丹後 海と星の見える丘公園 里波見	宿泊施設としても利用可能な公園。「自然に学び、いっしょに生きよう」というコンセプトをもとに各種体験プログラムも用意されている。
宮津市	魚っ知館 小田宿野1001	丹後の海に住む魚介類、珊瑚礁のある海に住む熱帯魚など、約200種類4000匹の魚を見ることができる。
	丹後郷土資料館 字国分天王山	京都府北部の歴史・美術・考古・民族などの資料収集、調査、研究、展示を行っている。
	天橋立ビューランド 字文珠437	日本三景「天橋立」を一望できる施設。
	富士酢醸造元 飯尾醸造 小田宿野373	漫画「美味しんぼ」やテレビでも取り上げられた「純米富士酢」で知られる。お酢蔵見学可。
	竹中缶詰 字小田宿野160-3	オイルサーディン等の販売。
	天橋立ワイナリー 国分123	ガラス越しにドイツ製の醸造タンク・瓶詰め室を見学できるほか、ワインの試飲も可。
	府立海洋センター 字小田宿野1061	京都府における水産業の研究、指導を目的として設置された京都府立の研究所。
	天橋立ユースホステル 中野905	日本三景の天橋立をはじめ、京都・丹後の観光と旅行の拠点にふさわしい出会いと交流のあふれるたびの宿。
	いーポート世屋 上世屋238-14	世屋高原に位置する宿泊施設。いーポート音楽祭というコンサートを毎年開催している。
	天橋立遊覧船 文珠644	天橋立を運行する観光船。